

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 令和 7 年度

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表を中心に理念に関する研修を実施している。そこでの研修内容を施設長・管理者・現場の職員で共有し実践に活かしている。また、理念に基づいた年間ユニット目標を設定し日々のケアで意識しながら実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の町内会に加入し、地域の一員としてかわっている。また、運営推進会議にも町内会長や民生委員の方にも参加してもらい、地域の意見を事業所運営に反映している。	地域の特性として、町内の住民の高齢化やアパート住人など町内活動に参加の方が多いのが現状でなかなか活動ができていない。隣接の保育園や高齢者センター等と連携してみるのもいいのではとご助言あり。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議を通じて利用者・利用者家族・市町村・包括・他事業所等に対して状況を報告し、意見交換・助言をいただいている。	運営推進会議を通じて、意見交換・助言をいただくことで、サービスの質の向上に活かしている。コロナ以後、家族の方の参加が消極的になっているので参加していただける様考えてみてはとご助言有。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議等に市の介護保険課や包括支援センターの方に参加してもらい意見交換や助言をいただいている。また、指導監査課や健康長寿課の方にも随時相談やご助言をいただいている。	必要に応じて、包括支援センターや市町村の関係部署と連携がとれている状況である。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員を選出し(管理者、各ユニット1名)、日々のケアを点検するとともに3カ月に一度以上委員会を開催している。また、運営推進会議を通じて報告を行い、参加者に意見交換・助言をいただいている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員を選出し、適切に委員会活動を実施している。また、研修においても定期的実施し職員が正しく理解できる機会を設けていると報告のもと評価いただいた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止委員を選出し、(身体拘束適正化委員と兼任)日々のケアを点検するとともに3カ月に一度以上委員会を開催している。また、身体拘束適正化委員会同様、運営推進会議を通じて報告を行い、参加者に意見交換・助言いただいている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止委員を選出し、適切に委員会活動を実施している。また、研修においても定期的実施し職員が正しく理解できる機会を設けていると報告のもと評価いただいた。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は、年に一度以上研修を通じて日常生活自立支援事業や成年後見制度の理解に努めている。また、必要に応じて家族に対し説明を行ったり、利用者の方が豊かな生活を送ることが出来るよう後見人と協力している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	担当者は契約において利用者及び利用者家族が不安や疑問点を十分に解消できるように配慮し時間をかけて説明を行い、理解・納得できるよう努めている。また、契約後においても不明な点があればその都度説明を行い、理解を得るようにしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者や家族等にアンケートを実施し、その結果を運営推進会議にて報告し意見交換・助言を頂いている。また、家族が電話やライン、メール、訪問時に気軽に要望を言うことが出来る関係作りにも努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アンケートや面会を通じて意見を反映する機会を持ってしていると評価いただいた。普段の様子をしっかり伝えることで家族等との関係性をより構築していけるとアドバイスいただいた。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者及び施設長は、年2回以上の面談の機会を設け職員の意見や相談を受け、運営に反映している。また、管理者においても普段から職員の意見や提案を聞く機会を設けるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者、施設長及び管理者は職員の評価を自社の評価表を用いて評価を行うと同時に、職員の家庭環境や事情に配慮した勤務状況を整備するなど、やりがいを持って働ける様努めている。また、未経験やブランクのある職員に対して安心して働けるようしっかりと時間をかけて業務を習得できるような体制を構築している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	独自の評価表を用いて面談等を実施し、適切に職場環境の整備に努めている。長年勤めている職員が多く離職率が低いので職員にとって働きやすい環境が出来ているのではと地域の方、他事業所の方から評価いただいた。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者及び施設長は、管理者や職員の力量を把握し、内外研修の受講の機会の確保に努め、職員教育に努めている。コロナ禍以後においては、リモート研修も活用している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	リモート研修の活用や介護福祉士等の資格取得支援を実施し職員教育に力を入れている。内部・外部研修参加の機会を確実に得ていることを評価いただいた。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者は、施設長や職員が他施設や他事業者との交流する機会を図っているが、感染症の影響があり以前に比べると機会が少なくなっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は、ご本人のもっている能力を活かし役割を持ってもらいながら、暮らしを共にする関係性を構築するよう努めている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の方が馴染みの人や場所との関係性が継続するよう、リモート面会や電話、外出等を通じて面会等の機会の確保に努めている。	感染症対策の立場から、なかなか家族やなじみの人との関係性の構築が難しいと感じることが多かった。5 類移行以後、感染症に対する理解が難しくなっていると感じることが増えてきている。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者やご家族の意向を独自の調査票や聞き取り、普段の言動から把握するよう努めている。また、実現に向け本人、職員、家族が話し合うようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人やご家族等、職員間で話し合いや意見交換を行いながら、現状に即した介護計画を作成するよう努めている。アセスメント、カンファレンス等、全職員がチームケアに取り組めるよう努めている。	定期的にご家族にご利用者の方の詳しい状況報告書を作成している取組は家族としても満足している。これからも続けてほしい。	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画やモニタリング、アセスメントなど職員が共同で取り組んでいる。利用者の方の状況を理解してもらい家族等と一緒にケアマネジメントしていく姿勢はとても良いと評価いただいた。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの実践・結果・気づきなどを個別記録に記入し、職員間で情報共有している。また、ICT 機器を活用し申し送りを綿密に行い日々の状態把握に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ICT 機器を活用した日々のカンファレンス、介護記録、申し送りノートなどで、情報共有に努めている。ICT の導入のメリットや変化などに注目いただいた。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人やご家族の状況やその時々ニーズに柔軟に対応できるよう職員で話し合い、取り組んでいる。	ご利用者の方や家族の方のニーズは様々で今後もいろいろなことが出てくると思うので施設として対応能力を高めていく必要がある。一方で、サービス内容以上の事を過度に望まれる状況も出てきているのでできることとできないことをしっかりと説明していくことが今後必要である。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会や近隣の方々の理解・協力、情報提供のもと、地域資源を活用しながら本人が望む安全で豊かな暮らしを続けられるよう支援している。	施設の周りには多くの社会資源があり、まだいろいろな部分で活用できる可能性があるのではと感じる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所との関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を大切にしながら提携医療機関や専門医療機関、家族と連携を取りながら適切な医療・看護が受けられるように支援している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所独自の医療連携シートや情報ファイルを作成しており、急な入院などにも情報提供できるよう仕組みを作っている。入院中においても早期退院や退院後の生活を視野に相談員の方と相談しながら検討をすすめている。日常的に看護師を通じて提携医療機関との連携に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所独自の連携シートや情報ファイルを作成し、入退院時に適切に情報交換できるように仕組みを作っている。隣接している北病院との関係があるのは当事業所にとって強みでもあるのでこれからもしっかり関係性を構築してほしいと意見をいただいた。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時及び利用者の方の状態の変化が見られたとき、家族・主治医・看護師・職員で十分に話し合い、事業所としてできることや方針について理解を得たうえで支援に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時や利用者の方に状態の変化が見られた際に施設・病院・家族でムンテラを実施するなど十分に話会う機会がもてるようにしていると評価いただいた。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の急変や事故発生時に備えてマニュアルを作成し、落ち着いて迅速に対応できるよう努めている。また、研修や振り返りを通じ随時見直し、点検を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	消防防災訓練・避難誘導訓練・防災訓練を年2回(日中想定・夜間想定)実施している。また、市の情報を基に研修等を通じて災害時の防災・避難マニュアルの見直し・点検を行い職員と共有するとともに近隣施設との協力体制について確認を行っている。	訓練や計画など定期的に行っていて安心して居る。また、隣接する施設や病院なども連携がとれていると思う。今後、地域の消防署や地域の方とのより一層の協力体制の構築を検討してほしい。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	防災マニュアルやBCP等の作成、避難訓練の実施などを適切に実施している。より実効性のあるものにしていくにはさらに改善を繰り返していくことの必要性をアドバイスいただいた。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は、事業所内外の認知症研修や接遇研修等を通じ、利用者一人ひとりにあった声かけを心掛けている。また、日々の業務の中でも管理者を中心に職員間で注意しあい適切な対応ができるよう努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は日々の業務の中でもご利用者一人ひとりに合った声かけを意識している。内外の研修を通じてさらに意識を高めることがとても有効だと意見を頂いた。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者の生活ペースを尊重し、本人の希望や心身の状況に応じて、柔軟に対応し本人本位の生活が送れるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節感ある地域の食材を使用し、買い物や献立づくりを工夫し、3食とも手作りで提供している。準備、配膳、片付けなど職員と一緒に行っていただくなど食事が楽しみなものになるように支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3食手作りにしている事業所はとても少なくなってきた。職員の負担はあると思うがご利用者の方にとってはとてもいいことなのでできる限る継続してほしいと評価いただいた。正月のもちの食べ方についてアドバイスいただいた。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量・水分量の摂取量を細かく記録し、利用者の状況を把握した上でその方に合った食事の形態やタイミング・介助方法などを工夫している。また、必要に応じて栄養補助食品を使用し必要栄養量が摂れるようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、プライバシーを配慮した上でうがいや歯磨き実施し、夜間は義歯洗浄剤を使用して口腔内の清潔を保持している。また、適宜、訪問歯科診療を受け、治療とともに口腔ケアについて指導や助言を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後適切に口腔ケアを実施できている。訪問歯科等を利用し、専門職による治療等も実施できていると評価いただいた。また、他施設では口腔体操を積極的に導入し効果的だご助言もいただいた。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの排泄の記録をとって、排泄パターンの把握を行っている。また、可能な限りトイレで排泄できるようプライバシーに留意しながら適切な声かけや状況に応じた誘導・介助を行っている。また、便秘予防のため適度な運動や食事や飲み物を工夫するようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮しながら利用者一人ひとりに合わせた排泄ケアを実施できている。また、便秘予防の為体操や食事や飲み物に気を付けるなどの対応を行っている点や安易にオムツを使用していない点に評価いただいた。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の基本スケジュールはあるが、利用者一人ひとりの希望や状況に柔軟に対応している。入浴剤の使用やケアの工夫、声かけなど、利用者がリラックスして入浴が楽しめるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室の設備や寝具など利用者の習慣をできるだけ尊重して安心して休めるように環境を整えている。また、共用スペースにおいてもソファ・イス・足置き・クッション・ひざ掛けなどを使用しゆったりとくつろげる環境を整えている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師が医療機関と連携し、GH職員はその指導の下一人ひとりに合った適切な服薬支援を行っている。また、利用者の状況の変化について随時主治医や看護師に報告・連絡・相談し、指示を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提携医療機関と連携し、看護師を中心に医療と介護の連携を図り適切に服薬支援を行っている。また、日々の健康状態の把握についても適切に連携できていると評価いただいた。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の生活の中で、利用者それぞれが役割を持ってハリのある生活を送ることが出来るよう支援している。また、レクリエーションなどを通じて気分転換が図れるよう支援している。	利用者の状況に合わせた支援ができていると思う。今後、外出の機会や屋外での活動が増えるよう検討してほしい。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り利用者・家族の希望に沿って施設近隣の散歩や外出などを支援している。感染症の状況によっては規制することもある。	ご利用者やご家族の意向を伺いながら、外出の機会を持てるように支援している。感染症の状況により規制することは施設の特性上しかたないので理解してもらうよう努める。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状態などを家族と相談しながら自己管理をし、訪問スーパーの来所時や職員と一緒に買い物などに行った際に嗜好品や日用品の購入ができるよう支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と相談しながら、電話の取次ぎや年賀状などの手紙のやり取りの支援をしている。また希望により個人用の携帯電話を持ってもらい使用などの援助をしている。パソコンなどを使いリモート面会などを実施し家族との関係性維持を図っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有空間はできるだけ清潔を保つとともに写真や装飾品、ご利用者の共同制作作品などで季節を感じる事が出来るよう支援している。また、室温・湿度・採光・音などにも留意し、快適な環境に整えている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の方が居心地よく過ごすことが出来るよう、細部にわたり気遣いができている。自分の部屋やトイレの場所がわからなくならないよう表示を大きくするなど混乱なく生活できるような工夫も見られると評価いただいた。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で職員が本人の想いや希望を傾聴し、自己決定や選択ができる環境を整えるよう努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に家族にホーム独自の情報シート(生活歴・習慣等)を記入してもらい、その情報や本人の話を基にケア・支援できるよう努めている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務日誌・介護日誌・健康チェック表を活用し、利用者の日々の生活の現状の把握に努め、それをアセスメントし、日々のケア・支援に活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護日誌や健康チェックなどの日々の生活の様子を基にアセスメント・プラン作成し、それを基に倉敷北病院と連携しながら適切にケア・支援を提供できていると評価いただいた。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活ペースを尊重し、本人の希望や心身の状況に応じて、柔軟に対応し本人本位の生活が送れるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室で使用する持ち物は家族と相談しながら本人の使い慣れた物や好みの物を準備し、居心地の良い居室になるよう配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室や自分の席の周りになじみの物や人に関わるもの、大切にしているものを近くに感じることができ、居心地の良い空間になるよう工夫できていると評価いただいた。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と相談しながら、本人の希望に沿いできるだけ催事に参加できるよう支援している。感染症の面においても家族に協力を得ながら適切に実施できている。	感染症の時期の実施はとても難しさを感じると他事業所の方から意見をいただいた。希望と感染症の状況を判断しながら実施していくことは今後も続く課題である。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の心身の状況などを考慮し、活動への参加を通じて役割を持ち楽しく過ごすことが出来るよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH職員は利用者が職員やご利用者との交流やレクリエーション、日々の活動の中で楽しく過ごすことが出来るよう支援している。また、職員の援助の下、活動参加の機会を増やし、ご利用者の方のモチベーション向上に努めている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はご利用者の方がレクリエーションや日々の関わりの中で楽しい時間を過ごすことが出来るよう支援している。また、ブログや赤白通信などでその様子を家族等が見ることによって安心感を与える一因になっていると評価いただいた。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は散歩や買い物などで外出した際や隣接している保育園など、近隣や地域の人々と交流する機会を持っている。	感染症や気候を考慮しながら、外出や散歩は出来ていたと思う。近隣の施設との交流も今後検討してはと意見をいただいた。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は、GHで健康面、生活面での支援を通じた職員との信頼関係を構築することで安心して穏やかな生活を送ることが出来ている。	隣接する病院と連携することで、ご利用者の方は医療・介護の面で安心して穏やかな生活を送れている。	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の方が安心して生活できるよう隣接する病院や地域と適切に連携している。また、職員と利用者の関係も良好で適切にケア・支援できていることも安心できる大きな要因となっていると評価いただいた。

